

News Release

2019年2月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J M C
代 表 者 名 代表取締役社長 渡 邊 大 知
兼 C E O
(コード番号：5704 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 岸 川 智 則
シニアマネージャー
(TEL. 045-477-5751)

コンセプトセンター第6期棟の建設について

株式会社JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長兼CEO：渡邊大知）は、コンセプトセンター（長野県飯田市）に铸造事業の新工場（第6期棟）を着工しましたのでお知らせいたします。

コンセプトセンター第6期棟は、2018年1月に稼働を開始したコンセプトセンター第5期棟に隣接し、2019年7月の稼働開始を予定しております。

新工場には、2018年12月12日付リリースにてお知らせしましたJMC初となる砂型3Dプリンター『S-Print（株式会社ExOne製）』のほか、コールドボックス中子造型機、低圧铸造設備の導入を予定しており、より付加価値の高い複雑な形状の製品を短期間で製造することが可能となります。また、第5期棟同様に、铸造工程の標準化による品質管理と稼働効率の向上、铸造現場の作業環境の改善を目的として、全館自動空調設備を導入いたします。

コンセプトセンター第6期棟では、高難易度化を伴って拡大する試作開発市場の需要に対応し、铸造事業の生産能力と生産効率の向上を実現するとともに、今後新たに事業展開を計画している砂型造形の受託サービスの準備にも取り組んでまいります。



【新工場概要】

(1) 名 称	コンセプトセンター第6期棟
(2) 住 所	長野県飯田市鳴 135 番地
(3) 延床面積	521.5 m ²
(4) 投資総額	約 430 百万円 (建物 250 百万円、機械装置 180 百万円)
(5) 資金計画	自己資金及び借入金により充当
(6) 主な生産工程	鋳造

なお、主な設備の概要は次の通りです。

【砂型 3Dプリンター】

従来マスターモデルとなる木型を削り出し、職人の手込めによって行われていた作業工程を短縮し、特に数多くの砂型を組み合わせる構成する自動車のシリンダーヘッドやインテークマニホールドの中子製作において、飛躍的な工期短縮を実現する 3Dプリンターです。また、EV^(※1) やPHV^(※2) 化によって益々大型化・複雑化する設計に対して、これまで手作業で造型することのできなかつた複雑な砂型にも対応可能となります。

【コールドボックス中子造型機】

砂型鋳造で使用する中子を製造する設備で、アミンガスを使用したガス硬化造型法を採用しています。従来の自硬性の砂型と比較して強度が高いことから、シリンダーヘッドなどの製造時に使用される複雑な砂型を製造する際に使用されます。

【低圧鋳造設備】

耐熱マグネシウム合金を材料とする難易度の高い製造時の歩留まりが改善され、品質の高い鋳造品をより安定して提供することが可能となる鋳造設備です。アルミニウム合金の製造においても、自動車のシリンダーブロックやシリンダーヘッド、足回り部品等の重要保安部品、航空分野で求められる高品質の鋳造品が、従来よりも容易に製造できるようになります。

※1 Electric Vehicle = 電気自動車

※2 Plug-in Hybrid Vehicle = プラグインハイブリッド自動車

以 上

【株式会社JMC】

会社名 : 株式会社JMC

所在地 : 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者 : 代表取締役社長兼CEO 渡邊 大知

設 立 : 1992 年 12 月 18 日

U R L : <https://www.jmc-rp.co.jp/>

事業内容 : 3Dプリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売
産業用CTの販売および検査・測定サービス

【本件に関する問い合わせ先】

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC 経営企画室 IR担当
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号
電話番号：045-477-5751 E-mail：ir@jmc-rp.co.jp